



桃五だより



No.575

(5月号)

杉並区立桃井第五小学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/momo5shou/>

2019. 5. 7

令和の始まり

副校長 日向 須真子

井荻駅から学校へ続く道のそこここに、桜の木やたくさんの草木が植えられていて、春の日差しの中、目にやさしい桜色や色とりどりの花の色に彩られた街路の光景は、学校へ向かう私の気持ちを明るく軽やかに、そしてわくわくしたものにしてくれます。

桃五に来て1か月が経とうとしています。平成から令和に代わるこの瞬間を、桃五で過ごせることを幸せに思います。

この間「朝遊び」が始まったり、警備システムが変わったりと、大人も子供も慣れない状況の中、上手に折り合いをつけながら、工夫して進んできたと思います。

着任したての副校長にとって、この1か月の出来事はまるで走馬灯のようです。中でも印象に残っているのは、始業式・入学式に向けて、4月5日の前日準備に登校した6年生の姿です。体育館で先生の説明を聞き漏らすまいと真剣に聞く姿。作業が始まると、もくもくと仕事に取り組む姿。入学してくる一年生のために、教科書やプリントを一つ一つ丁寧に袋詰めしたり、きれいに教室の飾り付けをしたり、ペランダにある植木鉢を一つ一つ動かして隅々まできれいにしたりと、どの子の動きも言われたからやっている、というのではなく、至極当たり前になっていることが伝わってきました。

また、今年から始まった朝遊びでは、校庭の芝生の上でのびのびと遊ぶ姿が見られました。遊びに出るときのランドセルの置き方や、遊び終わった後の校内への入り方など、初日は大人の誘導や声かけが必要で、時間がかり多少の混乱も見られましたが、2日目、3日目と日を重ねるごとに、校内に入るのに時間もかからなくなり、混乱も減ってきました。見守る大人も必要最小限の声か

けをするだけで、子供たちの気付きや工夫、自発的な成長を期待して見守っています。この見守りをしてくださっているのは学校支援本部の皆さまです。

春休み中に地域巡りをして着任のあいさつをしました。PTAの役員の方がご多用の中、時間を割いて校長と私を誘導してくださいました。何件ものお宅を訪問し挨拶を交わす中で、皆さん、桃五とのかかわりを語ってくださいました。桃五を愛していることがひしひしと伝わってきました。今年、創立85周年を迎えるということを知り、学校の歴史と地域との結びつきの強さを感じました。

先日は芝生を育てる会の皆様と顔合わせをしました。様々な団体の皆様が校庭の芝生を大切に育てていることが分かり、皆様をつなげる桃五の役割も感じました。

そして、子供たち、保護者、地域の皆様に加えて、強い桃五愛をもって、日々の実践に励んでいる教職員スタッフがいます。毎朝、朝遊びの見守りをし、昇降口でも学年に関係なく子供たちに声をかけ、子供たちが気持ちよく学校生活を送れるよう、一日のスタートが切れるようにしています。

今年度はまだ始まったばかりですが、桃五の子供たちが、一日の学校生活に満足し、明日の学校生活を待ちわびるようなそんな楽しい学校生活を実現していきたいと思います。

「令和」人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。

新しい元号にふさわしい学校にしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

5月の生活指導目標 友達となかよくなろう

- すすんであいさつしよう
- 気持ちのよい言葉づかいをしよう
- 中休み、昼休みに友達と元気に遊ぼう
- たてわり班の友達と楽しく遊ぼう

新しい学年に進級し、1か月が経ちました。クラス替えがあった学年は、新しい友達がたくさんいることでしょう。教室では、「一緒に遊ぼう」「よろしくね」など、自分からすすんで声をかけて、積極的に友達づくりをしている様子です。また、クラス替えがなかった学年は、前年度から引き続きのクラスですので、今まで同様休み時間に元気よく遊び、楽しく活動しています。

友達と遊ぶことは、小学校の大事な「勉強」の一つです。コミュニケーションの力を身に付けたり、協力・助け合いの大切さを知ったり、今後の「人との付き合い方」を学ぶ絶好の機会です。桃五小では、基本的に天気の良い日は外遊びをすることとなっています。ぜひ、体をおもいきり動かし、たくさんの友達とふれあいながら、様々なことを学んでいってほしいです。